

姫路名古屋山霊苑海軍戦没者追悼式

事務局長 古西 真吾

姫路支部（支部長・三枝副三）は 5 月 25 日、姫路市名古屋山霊苑内の海軍戦没者慰霊碑「群青に眠る白桜（群青とは心まで染める鮮麗な青い色、白桜とは海軍兵科識別章）」の清掃及び錨等の塗装作業を会員 11 名で実施した。

また旧海軍記念日の同 27 日には、本年も昨年引き続き姫路支部主催による姫路名古屋山霊苑海軍戦没者追悼式を挙行了した。

昨年はコロナ禍でもあり、来賓等のご案内は差し控えたが、本年は姫路駐屯地司令代理をはじめ県議会議員、地元有志の方々並びに地元防衛関係団体の長に参列いただき、支部としては支部長以下 21 名の会員が参列した。

式典は、国旗、軍艦旗掲揚（君が代のラッパ吹奏）に始まり国歌斉唱、黙祷、実行委員長三枝支部長の式辞、来賓代表による追悼の辞に続き追悼演奏、献花等を行い国旗、軍艦旗降下により滞りなく終了し戦没された英霊に哀悼の誠を捧げ冥福を祈った。



実行委員長三枝支部長の式辞



会員による国旗、軍艦旗の掲揚降下



追悼式来賓等の参列者